

【令和7年度第2回愛媛県認知症施策推進会議 会議結果概要】

1 会議の名称

令和7年度第2回愛媛県認知症施策推進会議

2 開催日時

令和8年2月9日（月）18：00～19：30

3 開催場所

愛媛県総合社会福祉会館 4階 視聴覚室

※現地とオンラインのハイブリット開催

4 出席者

構成員 11名

事務局 5名（長寿介護課）

関係課 1名（健康増進課）

計 17名

5 内容

（1）開会

（2）課長挨拶

（3）議事

①愛媛県認知症施策推進計画の体系について

②その他認知症施策に関すること

（4）閉会

6 審議の内容（全部公開・傍聴者0名）

（1）愛媛県認知症施策推進計画の体系について＜資料1＞

先に開催された「愛媛県認知症施策推進会議ワーキンググループ」の結果を報告するとともに、愛媛県の認知症施策推進計画の構成・施策体系、基本理念及び重点目標について説明した。

【構成員からの主な意見】

- ・「予防」から「備え」への言い換えは良い。
- ・「7 認知症への備えと健康づくり」は良い施策であるため、施策体系の順番として、より上位に位置付けてもよいのではないか。
- ・国の重点目標「3 認知症の人・家族等が他の人々と支え合いながら地域で安心して暮らすことができること」と比較して、県の重点目標案「3 認知症の人を含めた県民一人ひとりが安心安全に希望を持って暮らせる地域づくり」には「家族」という文言が抜けている。認知症の人及びその家族への支援強化が必要とされており、特に家族支援は認知症の人の支援にもつながるため、「家族」という文言は必要。
- ・介護経験から、国の新しい認知症観と現場の乖離を感じており、介護家族や現場の負担軽減策も重点的に行うべきとの意見もある。重点目標「2 認知症の人の生活においてその意思が尊重されていること」にも「家族」の文言を追加したらどうか。また、重点目標の表現を統一させた方が良い。
- ・計画策定中の市町へ計画策定スケジュール、県の合意形成過程等について随時、情報提供を望む。
- ・認知症施策について、認知症の軽度から重度までの施策を混在して計画を策定すると分かりにくい。重症度ごとに体系化すべきだが、国の方針がそのような形となっておらず、県の施策も国の方針に則って実施しなければならないため難しい。
- ・アンケート対象に警察、金融機関、若年性認知症に関わる企業なども含める検討を希望する。
- ・現場の多様な職種にもアンケートを届け、意見収集する方法を希望する。

(2) その他認知症施策に関すること

【構成員からの主な意見】

- ・県民公開講座は、根拠や評価の透明性の担保が求められるため、慎重な対応が必要であり、協力企業や後援団体の選定経緯や範囲についても十分な検討、情報共有、透明化が必要である。

[事務局] 保健福祉部生きがい推進局
長寿介護課介護予防係
電話 089-912-2431
FAX 089-935-8075